

はたはた

千葉 良一 著

Vol. 16

八峰町関東ふるさと会 会報

2025年9月発行



立岩とリゾートしらかみ号 撮影：富山浩二さん（秋田市在住）

第17回総会・懇親会開催日決定

八峰町関東ふるさと会会長 戸田 眞里

当ふるさと会会員の皆様並びに八峰町と八峰町民の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より当会の活動に格別のご理解とご厚誼を賜り、厚く御礼申し上げます。今年は猛暑、線状降水帯、熊の被害と連日のように報道されていますので大変心配致しております。

さて今年の「第17回総会・懇親会」は11月16日(日)に決定いたしました。

今年も美味しいお料理、きりたんぼ鍋などをご用意いたします。また、会員で民謡歌手の佐々木盛次さんにご出演いただきますので秋田民謡他をたっぷりお聴きいただけます。ご友人知人をお誘いいただき、一人でも多くの方がご出席くださいますことを心より願っています。

当会では2015年7月にHP(ホームページ)を開設して今年で10年になります(会報『はたはたVol.16』6ページ参照)。

八峰町内の出来事は勿論、近隣市町村や県内の出来事などから八峰町関連記事を選び、幅広く紹介していきます。過去の会報『はたはた』や総会・懇親会写真、町で発行していま

す広報『はつぼう』を閲覧することもできます。

更に2015年から現在までの掲載記事も見えていただけますので、今よりもっとふるさとを近くに感じることが出来ます。内容はとても充実していて多方面から高い評価をいただいております、会報と共に重要な存在となっております。記事は担当者(白木・三浦)が交代で基本的に月数回ペースで更新しています。

しかし、多くの方からHPのアクセス方法が「難しくてわからないから教えて欲しい」という声がありましたので、総会・懇親会の中で実際にご説明する予定になっています。スマホを使って誰でも簡単にできますので忘れずにお持ちください。

本日、会報委員の努力により完成しました会報『はたはたVol.16』をお届け出来ますことを大変嬉しく思います。11月の総会・懇親会で皆様にお会いできますことを楽しみにしております。

最後に八峰町民の皆様、会員の皆様、この会報をご覧いただいております皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。



関東ふるさと会の皆様へ

八峰町長 堀内 満也



ふるさと会員の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より、ふるさと八峰に思いを寄せて御支援いただいておりますことに心から感謝申し上げます。

会員の皆様は、ご承知のことと思いますが、三月二十日に初代八峰町長の加藤和夫さんが逝去されました。加藤さんは町村合併後、町の発展に大変ご尽力いただいた方であります。これまでの功績に対し、衷心より感謝申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

さて、今年四月に秋田県知事選挙が行われ、十六年ぶりに県政の新リーダーが誕生いたしました。

初当選を果たした鈴木健太知事は、私と同じ年齢であり、また、掲げた政策についても、人口減少対策をはじめ、八峰町の克服すべき課題と一致するところも多く、これまで以上に県との連携を図りながら、各種事業を進めてまいりたいと考えております。

また、七月に行われた参議院選挙では、与党が多くの議席を失い、野党が躍進しました。物価高における経済政策をはじめ、政治資金問題や

令和の米騒動が大きく影響したものと感じております。

米の価格については、消費者にとっては厳しい状況が続いているものの、米農家が多い本町としては、二年連続で米価が高水準となることが見込まれていることは、喜ばしいことでもあります。

しかしながら、今年は全国的に猛暑に見舞われており、本町においても例外なく暑い日々が続いているほか、七月に入ってから、極端な少雨傾向が続く、無事に出来秋を迎えることができるのか危惧しております。

一方、昨年度、新たに人口減少対策の一貫として、民間事業者との連携により旧峰浜庁舎跡地の遊休地を利活用し、十世帯が入居できる定住促進住宅を整備しましたが、現在は町内外からの入居者で満室となっており、本町における住宅需要を感じているところであります。

今後、町の長所を活かしながら更なる町政の発展に取り組んでまいりますので、関東ふるさと会の皆様から引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ふるさと会今

八峰町議会議長 皆川 鉄也



八峰町関東ふるさと会の皆様こんにちは。

八峰町は7月19日に平年より9日早く梅雨明けしましたが、太平洋高気圧に覆われ猛暑日が続く、首都圏の皆様と同様に厳しい暑さの毎日を送っている現状です。猛暑に加え記録的な少雨による水不足が生じており、米の収穫量の減少や品質の低下などが心配され、稲作に大きな被害が予想されます。そのほかの野菜や農作物にも少なからず影響があるようです。

早いもので八峰町は平成の大合併後、来年3月27日には20周年を迎えますが、本年3月に八峰町初代町長として町政に尽力をされた加藤和夫氏が、大きなご功績を残してご逝去されました。ここに故人のご冥福をお祈りするものであります。

八峰町は合併に大きな夢と希望をもつて町財政の確立や地域活性化、人口減少対策、観光振興など諸課題を抱えてのスタートとなりました。合併して間もない10月3日には峰浜庁舎が全焼する火災が発生し、4箇所に分散しての業務も経験しました。合併当初は人口9,245人、世帯

数は3,191戸でしたが、今現在、人口は6,007人、世帯数は2,928戸まで減少し、少子高齢化も相まって人口減少に歯止めのかからない現状です。これに伴い児童生徒数も減少し、中学校が2校から1校、小学校は6校から2校に、こども園も6園から2園となっております。最近の出生数の動向などから、現在の学校等の再編も検討されています。

様々な困難に直面してはありますが、若者定住促進や農林水産業の振興、観光振興など希望の持てる分野も多々あり、これからが踏ん張りどころです。八峰町議会の任期も残り1年を切りました。任期満了となる来年の4月まで気を緩めることなく、粘り強く英知を集め、町のために取り組む所存です。

関東ふるさと会の皆様には、ふるさと八峰町への力強いご支援とご協力を頂いているところであります。持続可能なまちづくりに、なお一層のお力添え頂ければ大変ありがたいと思います。

関東ふるさと会の益々のご隆盛と、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

広報『はっぼう』でみる

八峰町の出来事

広報『はっぼう』の申し込みは、八峰町役場企画政策課広報情報係まで 令和6年9月号～令和7年7月号
TEL.0185-76-4603 FAX.0185-76-2113 年間購読 2,000円(毎月1回発行)



令和6年8月10日 八峰花火フェス2024 1,500発打ち上げられた花火が夏の夜空を彩る。



9月10日 サイダーを美味しく飲む大会 北海道テレビ主催・八峰町観光協会共催で、9年ぶりに開催。



9月30日 峰浜小・八森小5年生が稲刈り体験 地域の協力のもと他学年でも活発に両校が交流活動。



11月9～11日 第19回八峰町文化祭開催 参加13団体・約220名。踊り・コーラス・楽器演奏を披露。



12月1日 おにぎり&みそ玉づくり 男女共同参画と家族のつながりを考える催事。14名の親子が参加。



令和7年1月30日 地域貢献会議開催 八峰中2年生が地域住民と地域貢献を考え、各班が発表。



3月29・30日 第2回何もしない合宿 町内外の小・中学生19名が参加。各自が自由に交流を楽しむ。



5月3日 水沢郷中まつり「こどもみこし」 半纏姿の子どもたちが6基のみこしを引き町内を練り歩く。



5月29日 はっぼう青空マーケット開催 峰浜沼田で約15店舗が出店し、海産物・焼き菓子などを販売。

ふるさと納税のご案内

●申し込み方法 ふるさと納税ポータルサイト:ふるさとチョイス/さとふる/楽天ふるさと納税/ふるなび/ふるさとぷらす/JRE Mallふるさと納税/モンベル/マイナビふるさと納税/ふるさと納税百選/まいふる/Amazonふるさと納税、の各サイトからお申し込みください。
または、八峰町役場企画政策課(電話:0185-76-4603)へ連絡すると、後日返礼品カタログと申込書、郵便振替用紙が郵送されます。

●八峰町の寄附金実績 令和6年度の寄附件数は3,643件、寄附金額は90,643,000円でした。

●寄附金の活用について 令和7年度は、令和6年度に引き続き「ICT教育等環境整備事業」、新たに「子育て世帯負担軽減事業」に活用予定です。

～新鮮食材 全国発送いたします!!～

水木食品ストア

Instagramで
日々更新中
@haruka_mizuki



〒018-2501

秋田県山本郡八峰町峰浜水沢字水沢67-1

TEL・FAX 0185-76-2031

メー ル mizuki728@hotmail.com

ホームページ <https://r.goope.jp/mizukistore>

◆八峰町のふるさと納税に「きりたんぼ鍋セット」他協賛しています。

◆ご注文はメール・ホームページからお申し込みください。

岩館第2漁港の大規模な整備事業が 今秋始まる

八峰町関東ふるさと会

副会長 須藤 正喜



八峰町沿岸は対馬暖流2支流が合流する好漁場であり、主にハタハタ、ホッケ、タラ、メバル、クロマダゴロ、黒アワビ、岩牡蠣等が水揚げされてきたが、昨年はハタハタの大不漁に不安が高まった。

岩館漁港の海域は特に秋から春にかけて荒天が多く時化が続き、月数回程度しか出漁できない。安定的な水揚げによる漁業収益の向上、若年層漁業者の増加による町の活性化が大きな課題である。それらの対策として、現在、岩館地区の漁場整備事業が進められている。



●編集部注…写真は水産庁の資料より。赤帯部の白丸は、直径20mmの円形生簀×15基を示す。

10年程かけて沖合へ向けて長さ200mの消波施設（写真赤帯部分）を延ばし、波の影響が少ない静穏域を造り、サーモン、岩牡蠣、アワビ、ナマコ等を養殖する計画である。

アワビが増えれば「あわびの里づくり祭り」への他地域からの集客が増え、町の観光にも貢献する。さらに期待値が高いのは味も大評判の「輝サーモン」。2021年に八峰町の若手漁業者らでつくる八水（株）が、県の委託事業として岩館港でサーモントラウトの稚魚500匹を試験養殖し、成魚420匹の水揚げに成功。翌22年から八水（株）の事業として1000匹に増やし、23年は生簀を大型化して1500匹に規模拡大。24年は1500匹を入れ生存率95%超。4回に分けて、県内のスーパードーにも出荷。順調に事業化を進めている。

養殖場が拡大した際には、町の主力産業となり流通・観光業にも寄与する可能性は大きい。AI（人工知能）の予測では「八峰町の特産品として注目を集め、町の未来を照らす“輝き”そのもの」とのこと。

＊八水（株）代表取締役 菊地陽一氏談
これまでの経験や地域との繋がりを踏まえた上で今から少しずつ土台を築き、事業拡大後には高品質の輝サーモンの育成と持続可能な養殖が出来るよう邁進して参ります。

好きになった町で 自分にできることを探して

八峰町ふるさとPR大使

井上 佳子（八峰町水沢在住）
（神奈川県出身）



八峰町とふるさと会の皆さん、初めまして。私は昨年神奈川県から隣の能代市へ移住、9月に八峰町へ引っ越し、念願の八峰町民になりました。今年5月から「八峰町ふるさとPR大使」をやらせていただいております。

私は5年ほど前に、初めて五能線で訪れた八峰町の風景に恋をしました。その時にもう、自分が将来ここに住むことが想像できました。もしかしらば、前世は秋田県民だったのでしょうか？そのくらい居るだけで気持ち落ち着きます。

昨年まで4年間にわたり、春夏秋冬4回は夜行バスに乗って訪れました。お気に入りには、東八森駅から岩館までひたすら101号線を歩くというもの。当時はまだ車の免許を持っていなかったのです。歩くだけでいいのですが、これが今となってはとても意味がありました。

歩きだからこそ見える風景は、地域の方々の日々の暮らしや町の歴史を垣間見ることが出来ます。日常生活の中にある自然豊かな環境は、とても贅沢ですね！

八峰町は白神山地まで入らなくて

も、手前のぶなっこだらけ周辺や二ツ森で十分に緑を満喫できますし、海に行けば絶景の夕陽が拝めます。日常のいたるところが情緒的です。そこが一番大好きなところです。

移住後のお仕事は憧れていた造園関係や生薬農家へ向けて、全くの異業種からの転身でチャレンジしているところです。

観光に関しては、まずは五能線の「あきた白神駅」周辺はぜひとも官民一丸となって盛り上げられたらいいですね。私のような元旅行者としては、車窓から見える風景をもっと整備して、観光客の皆さんのカメラに1枚でも多く八峰町の風景を収めてもらいたい！という想いがあります。

そこで、現在趣味の活動として五能線の駅舎周辺の草刈りや、ご縁があった集落での草刈り作業に参加する機会を今後増やしていく予定です。私にとって八峰町は峰浜も八森も隔たりなく大好きです。風景が好きなだけでなく、何より住まう人が好きです。

どこかで見かけた際は気軽に声をかけてください！

わたしが選んだ町、八峰町

前八峰町地域おこし協力隊

山田 菜々子（八峰町峰浜在住）
（能代市出身）



はじめまして。山田菜々子と申します。R4・8月に横浜市から夫と娘と移住し、9月～R7・3月まで夫と共に、地域おこし協力隊として活動しました。妹家族が八峰町で暮らしていることから移住を決めました。

「移住して良かったことは？」とよく聞かれるのですが、まず星空がとてきれいです。横浜で暮らしていた頃は、こんなにはっきりと星を見ることはできませんでした。今は、ふと見上げると満天の星空が広がっています。グラデーションの夕焼けや、鮮やかな緑の田園、辺り一面真っ白になった雪景色など、春夏秋冬をはっきりと五感で感じる事ができます。移住してもう3年が経ちますが、今もまだ毎日「きれいだなあ」と思いながら過ごしています。

また、大切な仲間に出会うこともできました。このように、一つには決まれないほど良かったことがたくさんあります。

協力隊としての主な活動は生菓のPRと販路拡大でした。カモミールは実際に自分達で畑を借りて栽培し、それが今の仕事に繋がっています。協力隊としての2年6カ月は、やり

たいことを見付け、叶えるために一生懸命になった、とてもあつというまの時間でした。

そして、協力隊期間中に起業することを決断し、今年2月に私と夫、協力隊同期の越前谷淳と3人で合同会社「やつほふfarm」を設立し、法人化することができました。なぜ3人だったかという点、とても単純な理由で、3人でいるのが楽しくて協力隊が終わっても一緒に仕事したいと思ったからです。何事にも楽しむ気持ちを大切にしています。

事業内容は、梨とカモミールの栽培から加工、販売まで行います。代表は越前谷、果樹園の園主を夫、私は主に広報関係を任されています。果樹園は130年以上続くコダレの梨、笠原果樹園さんで約1年修行し、3月に事業継承しました。先代の笠原さんに今も教えていただきながら作業しています。果樹園には、和梨、洋梨合わせて17種類あります。8月末頃から11月下旬頃までの販売を予定しています。

また、加工場兼店舗として東八森駅前の旧ビーチマートをリノベーションしている最中です。梨とカモミール

ルを使い、八峰町のお土産を作りたいと考えています。ふらっと立ち寄りお茶っこをしたり、子どもたちが遊べるスペースも作りたいと思っています。町内外の方に八峰町の良さを感じてもらい、楽しんでもらえる場所になるよう準備中です。オーブンは8月下旬頃の予定です。

起業や事業継承をするにあたり、たくさんの方が応援してくださり、溢れるほどの優しさをいただきました。この町に残り、この町で頑張っていくことで、いつか何倍にもしてお返ししたいと思っています。

日々の農作業の様子などはイン스타그램で情報発信していますので、よろしければ「やつほふfarm」で検索してのぞいてみてください。

みなさんのふるさとである八峰町のことが、私は大好きだという気持ち

八峰町に帰省された際には、是非お立ち寄りください。みなさまにお会いできることを楽しみにしています。



*編集部注…「やつほふfarm」は070・5473・2525です。

日本海と白神山地が出逢う宿

海の幸たっぷりのお料理とあったかい温泉で心と体を癒してください

- ・美しい景色を一人占め
- ・特別な時間をゆったりと過ごす

八森いさりび温泉

ハタハタ館

ホームページ: <http://www.hatahatakan.jp/>
秋田県山本郡八峰町八森字御所の台51番地
TEL: 0185-77-2770(代)

関東ふるさと会に参加して

工藤 洋一（秋田県秋田市在住）
（橋台出身）



早いもので、初めてふるさと会に参加してから六年になります。その間、コロナ感染の影響で外出を控えた時期もありましたので、前回久しぶりに同級生に会い、楽しい時間を過ごせたことに感謝しています。

会の冒頭、堀内町長の挨拶で、現在の八峰町の農林水産業が順調に推移している事、教育現場では、八峰町の子供たちが全国トップクラスの学力と聞き、一生懸命頑張っている様子が確認出来ました。

私は、父の仕事の関係で発盛鉱山の社宅に住んでいました。小学生の頃は友達と、海で魚釣りを楽しんでいました。決して上手なわけではなく、一匹釣ったら大満足でした。

中学校ではバスケットボール部に所属していました。試合には出ていたのですが、こちらにも上手なわけではなく、一点でも点数が取れば大満足でした。

高校は、能代工業に進学しました。

社会人になってからは、能代工業のバスケット応援や同年代の実業団選手の応援で、県外に出掛けました。

一番思い出に残っているのは、広島でのウインター・カップです。本

来、東京体育館での開催が、改修工事のため広島での開催となったのです。東京へは「へそくり」で何とかなったのですが、広島は無理なので、妻を誘って目的を「広島旅行」に変えて、旅費を家計費から出してもらい、「バスケット観戦と広島の世界遺産」を楽しみました。

余談ですが、広島ウインターカップで知り合った八峰町出身の能代工業OBの方とは今も親しくさせてもらっています。もう一人のOBの方は現在、能代科学技術高校でヘッドコーチとして頑張っています。

幼い頃は、いつも三歳上の姉の後ろにいる、人見知りで、大人しい子供でしたが、もうすぐ古希を迎える私は、髪の毛は少なくなり、昔の面影は無く、普通の図々しい爺さんになりました。風貌は変わっても、同級生と少年時代の思い出話を楽しみに、今年も「関東ふるさと会」に参加するつもりです。

最後になりますが、私を育ててくれた両親、八峰町と山と、そして、バスケット応援をいつも快く許してくれた妻に感謝し、寄稿文とさせて頂きます。ありがとうございました。

ふるさとに自信を持って

梶原 こずえ（神奈川県横浜市在住）
（塙出身 旧姓 嶋田）



今年新年久しぶりに秋田新幹線こまちに乗車した折、車内に『あきたこまち40年』の広告を目にいたしました。「あきたこまち」は、すでに全国に知らぬ方が居ないほど名米として知れ渡る米になりました。

あきたこまちが世に出て40年にもなる事に、感慨深い思い出がよみがえりました。

あきたこまちが世にデビューした年、わたくしは20歳でございました。秋田市内の女子短大に通っている頃に経済連の方にスカウトされ「あきたこまち娘」として川崎や名古屋をはじめ各都市で、この新品種を広めるキャンペーン娘として農協勤務の3名の女性の方々と、あきたこまちの装束を着けて仕事をさせて頂きました。どちらの地でも装束が珍しい様子で、興味を持たれたお客様方が囲み、仕事を励ましてくださいました。初対面の方々でありながら、その笑顔は長く良き印象として残っております。

確か平成2年には、天皇陛下の一世に一度の大嘗祭において天照大御神と天皇が召し上がるお米に選ばれた誉れと共に、全国に知れ渡る名米

として知名度を高め続け、喜ばしい歴史を現在も創っています。

関東に住むようになり30年経ちます。お会いする方に「ふるさとが秋田であり、八峰町です」とお伝えしますと、その度に「あきたこまち！」と呼んでくださいます。首都圏でも広く知られているお米なのだと納得させられます。

ふるさとに帰れば目にも鮮やかな青田の香り、刈穂の香り、水田と隣合わせに暮らした風土、美しく澄んだ川水、美しい山々がわたくしを育んでくれたと感じます。

両親と御先祖がこの世に送り出してくれ、周りの方々のお支えと共にふるさとという大きな親にも育てられていたと衷心からそう感じます。

これが60歳を迎えて「ふるさとを親のように愛しむ、若き日にはまだ育っていなかった愛慕なのだろう」と、わたくしなりに納得しています。

ふるさととはわたくしにとってここより他に無い大切な場所です。

ふるさとに自信を持ち、尊み、讃え、愛しい気持ち話し、感謝しながら生きて参りたい、生かさせて頂きたいと望み思う日々です。

再びふるさと八森へ

日沼 隆一（静岡県熱海市在住）
（茂浦出身）



私が故郷の八森を離れたのは15歳のときでした。秋田市にある秋田高専に入学するためでした。あの時から59年の歳月が流れました。八森中学校20期の卒業生です。

昭和30年、40年代の八森は、発盛鉱業所の従業員とその家族で大いに賑わっていました。椿台には住宅が軒を連ね、同級生が何人も住んでいました。農業、漁業、林業も盛んで活気のある町でした。幼少期の私が、その後の進路を決めるとき、発盛の存在とそこに働く人たちの影響は大きかったと思います。

卒業後は整備要員として航空会社に入社しましたが、数年後に運航乗務員になる機会が与えられ、その後30数年間はアフリカ、中近東を除くJ航空会社の就航都市の殆どを訪れました。

それぞれの滞在先では、その国の気候、風土、文化に触れることができ、貴重な経験をするのができました。特に1983年から駐在していたアラスカ州での生活は大自然の中で、それまでの人生観までも変えてしまうような体験でした。

就職してからは、年に一度か二度

は子供達を連れて帰省していました。同級生たちが沢山地元に残って居たので、その都度、連絡しては海や山に連れていって貰い、遊んでいました。子供達にも自然の良さに触れさせることができ、良い思い出作りになったと思います。

20年程前に、両親が相次いで他界してから、八森は急に遠い存在になっていました。15年前に定年退職して、熱海に移り住みました。ところが、3年前に実家を継いでいた兄が突然亡くなり、それに伴い、私の実家を相続する事になりました。50数年ぶりにふるさと八森と大きく関わっていくことになった訳です。

今は、実家の片付けのために熱海と八森を行ったり来たり生活です。しかし、そこには昔のような賑わいはありません。知っている人も少なくなりました。寂しい限りです。

私にとっての八峰町会は中学時代の同窓会のようなものです。毎年そこに行けば同じ青春時代を過ごした友達に会うことが出来ます。

八峰町関東ふるさと会の運営関係者のご尽力に対して感謝申し上げます。ありがとうございます。

ふるさと・八森を出て52年。 思い出と今

福士 敏彦（千葉県千葉市在住）
（東八森出身）



八峰町と会員の皆さん、お元氣でお過ごしでしょうか。私は、八森小学校・中学校を出て大工の道に進もうと思いい、父の知り合いの工務店にお世話になり3年間修行。その後、大工の父と一緒に千葉市へ。その当時はオイルショックが続く、仕事も減少し大変な時代でした。10年もしないうちにバブル時代になり、仕事は黙っていても入ってきましたが、そんな時代は長くは続きませんでした。そんな中でもなんとか仕事を続け、地元菅田（千葉市）で49年目を迎える工務店になりました。

この間は1年に5月の連休・お盆・正月と必ず3回は帰省して、友人たちと酒を酌み交わす楽しみがありました。八森に癒やされる中で妻と知り合い、もう40年も経過。子供も4人も授かりました。

小学生の長男が友人に誘われて、地元の平川ファイターズ野球倶楽部に入りたいということで、中学時代に野球部で野球好きの私と行くと大歓迎を受け、長男と同時に私もコーチとして入部。それが私と少年野球の関わりが始まりました。すぐに次男も入部し、毎週日曜日は朝から夕

方まで練習・試合。楽しくてたまりませんでした。

子供が6年生になり卒業すると、各親・指導者も卒業となるころ、チーム代表から「残ってほしい」と依頼を受けて残ることに。そこから私の新たな「少年野球人生」が始まりました。チーム代表が急死して後継者選びの中で、私が代表を受けることに。それから30年が過ぎ、もう2年でチームも創立50周年を迎えることになりました。

小学生の孫も少女野球チーム「千葉ドリームガールズ」に入り、今年、第12回千葉県少年野球女子大会で優勝。8月14日から8月20日まで、岡山県で行われる全国大会へ出場します。親・子・孫の3代が選手として、監督・チーム代表として野球に関わったことは誠に幸せなことです。

現在、

・少年野球チーム代表
・千葉市緑区会長

・少年軟式野球会理事長

・千葉ドリームガールズ代表

生まれた田舎、妻や子や孫に感謝し、毎週土・日は忙しくも楽しい日々を送っています。

一人旅でよみがえった、 ふるさとの思い出

小田嶋 幸次（千葉県栄町在住）
（椿台出身）



私は高校卒業の昭和47年まで、椿台にあった発盛鉱山の社宅で暮らしていました。観海小学校、八森中学校、能代商業高等学校へ嵐の日も挫折せず通った道のりは、千葉県に住み始め半世紀を過ぎた今でも忘れない人生の財産として残っています。

勤めていた鉄道会社の定年を機にふらっと車で一人旅を計画し、能代駅から五能線に乗り換え車窓を眺めながら八森駅で下車。ホームから改札までの木造建築の通り道は階段も当時のまま。隅に自然の秋田ふきが生えていて、歴史の風化のまま大切にしている印象を受けました。改札を出て椿台まで五能線沿いの通学路にしていた歩道を歩いていると、当時の懐かしい思い出がよみがえり、目頭の熱さを感じてしまいました。

社宅だった跡地は野原状態、近く閉店予定の山文商店があったのはうれしかったのですが、時代の加速は待ってくれません。町はだれ一人歩いてはおらず、誰とも連絡できる人もなく、一人さみしく弘前の桜を鑑賞しての帰宅でした。

誰とも会えなかったのを残念に思い、母校の高校、中学校に無理を承

故郷に想いを寄せて

大高 忠勉（東京都豊島区在住）
（水沢出身）



知で同級生の連絡先を問い合わせたところ、八森中学校教頭先生より直接同級生と連絡を取っていただいたことで、今は何度か同級会にも参加することができています。同級生との縁で、八峰町関東ふるさと会にもクロマチックハーモニカ演奏で昨年出演させていただきました。

思いもよらずの連絡とはいえ、八森中学校へ御礼もできておらず、この場をお借りして感謝申し上げます。

今も2つのハーモニカグループに所属して楽しんでいます。以前某総合病院ロビーでの演奏依頼があり、内科医のギター伴奏でやりたいというので自宅で打ち合わせ中に、その医師はなんと小学校時代に何年か椿台に住んでいたことがわかり、びっくり!!

面白い偶然では、眼科で視力検査室に名前を呼ばれたとき、私と同姓同名がもう一人来て検査員もびっくり顔だったり、社宅での出来事ですがUFOを見たり、大病による大手術をしたときは三途の川を渡りそうになったりで、まだまだ人生いろいろと楽しんでいきます。

最後に、八峰町関東ふるさと会のみますますのご発展を祈念いたします。

オイルショックの影響で戦後初のマイナス成長を記録した1974年に出生した私は、バブルが崩壊した1992年に能代高校を卒業し、専門学校へ進学。日本経済は長期の平成不況で「失われた30年」と言われた時代を東京で過ごしました。

この30年を振り返ると、パソコンやインターネットの普及、スマートフォン^{スマートフォン}の世帯保有率は90%を超え、時代は大きく変化。私もカレンダーをめくる暇もないほど、季節が駆け抜け、気がつくとも50歳になっていました。

故郷の季節は、もつとゆつくりと巡っていたように思うのですが、東京では常に高速道路を運転するかの様に速いスピードで時が経つため、時折は疲れていたと思います。しかし、年に数回の帰省で家族や友人と会い、八峰町の大自然にも癒され、再び高速道路に合流する事が出来ました。英気を養える故郷があるのは本当に素晴らしい、とても大切だと感じています。

ところが、地方は後期高齢化や過疎化が急速に進み、八峰町も同様で人口は約六千人、65歳以上の人口割合は46%の状況です。私の両親も後

期高齢となり、生まれ育った実家を存続する事が出来るか？頭を抱える課題となっています。思い出が詰まった実家は何とか残したいものです。

僅か18年ですが、子供の頃の思い出は宝物です。第二次ベビーブーム「団塊ジュニア」世代なので、水沢小学校は50名強、峰浜中学校は100名強の同級生がおりました。小・中学校時代は少年野球に没頭し、毎日練習で汗を流し、小学校と中学校で優勝を経験する事が出来ました。自分達以上に保護者が歓喜に沸いており、「日頃の恩返しが少しは出来たかな？」と思います。悔しかったのは、中学3年の夏、全県少年野球大会に出場し、中川中也投手率いる横手市の山内中学（準優勝）と初戦で対戦、完全試合で敗退した事です。

家族や友人とは、春は山菜採り、夏は川や海で泳ぎや魚釣り、秋はきのこ採りなどをしました。このように自然豊かな八峰町、帰省すると昔話で談笑できる仲間がいる八峰町。この大好きな八峰町が消滅する事なく、存続してくれる事を切に願ひ、700km離れた東京から常に故郷へ想いを寄せて応援しております。

*編集部注…中川投手は秋田経法大学附属高校で甲子園に出場し「東北のパンビ」と呼ばれ、阪神タイガースに入団されました。

首都圏秋田県人会連合会行事案内

◆第62回芸能大会



期 日：令和7年10月13日（月・祝）10:30～17:00
会 場：文京区役所文京シビックセンター（小ホール）

東京メトロ 南北線、丸ノ内線
「後樂園駅」下車、徒歩1分

内 容：民謡、歌謡、舞踊などの披露
※八峰町ふるさと会会員の
本多義春さんが歌謡部門で
出演します。

入場無料
申込不要



問合せ先
八峰町関東ふるさと会会長
戸田 眞里
電話：090-9816-5093

八森の新鮮な魚介類をお届けします

有限会社

梅丸漁業

代表取締役 加賀谷 弘



〒018-2624
秋田県山本郡八峰町
八森字横間台26
TEL/FAX 0185-77-2126

魚介類販売業

合同会社fishdoor

秋田の魚を
全国のご家庭へ



〒018-2621
秋田県山本郡八峰町
八森字茶の沢141-13
tel 080-1837-1165
（販売担当：千葉）

e-mail
fishdoor-chiba
@outlook.com

fishdoor



秋田県漁業協同組合

Fisheries Cooperative Association of Akita

代表理事組合長 杉本 貢

北 部 支 所 TEL 0185(77)2255
FAX 0185(77)3387

〒018-2626

秋田県山本郡八峰町八森字横間156番地先

支所長 門脇 哲也



あふれる緑、大地と共に輝く未来

秋田やまもと農業協同組合

本 店

〒018-2104 秋田県山本郡三種町鹿渡字町後270
TEL：0185-87-4600（代） FAX：0185-87-4200

代表理事組合長 竹内 孝一



八峰支店 〒018-2503 秋田県山本郡八峰町峰浜塙字豊後長根65-1 TEL:0185-76-3151(代)FAX:0185-76-3959
支店長 桜庭 武

第16回総会・懇親会スナップ

2024年11月17日(日) 於アルカディア市ヶ谷

紙面の制約上、掲載写真が限られてしまいます。写真は他にもあります。
当会ホームページでご覧ください。



八峰町ふるさと会 で検索、または右記QRでホームページにアクセスし、
メニュー → ふるさと会について → 総会写真アルバム → 年度選択 でご覧ください。



皆川議長乾杯発声



坂本所長挨拶



戸田会長挨拶



堀内町長挨拶



菊地会長挨拶



藤井社長のフルート演奏



小田嶋さんのハーモニカ演奏



町の特産品を持ってきました



役員全員で総会準備



きりたんぽは早々に完食



子供用も用意しました



埴川地区の皆さん



親族・友人が集まりました



八森中学校第16期生の仲間



峰浜地区他の皆さん 初出席の方が3名もいます



八森中学校23期生他の皆さん



沢目中学校S43年卒業の仲間



小田嶋さんの演奏を聴きに仲間が集まりました



かわいいお嬢さん達がお手伝いの抽選会



八森中学校26期生の仲間、初出席が4名も



抽選会で会長賞をゲット



みんなで「ふるさと」を合唱



山本副議長の音頭で万歳三唱

おらほの館
地元野菜の販売とご当地ソフトクリーム
TEL 0185-76-4649



おいしい
道のレストラン はっぼう TEL 76-4455
八峰町峰浜沼田ホンコ谷地147-6 道の駅となり

ふるさとの味と香り、おいしさそのまま贈ります。

秋田名物
きりたんぽセット



10月上旬から
2月下旬まで
発送いたします。

地方発送
承ります

申し込みご予約は
TEL. 0185-76-2529 FAX. 0185-76-3156
〒018-2507
秋田県山本郡八峰町峰浜田中宇大土面17 **レストラン 峰**
ホームページ <http://www.shirakami.or.jp/~mine/>

お薬のこと、健康のこと … etc
何でもご相談ください！

皆川薬局

八峰町峰浜水沢字稻荷堂後120-6
TEL.76-2052・FAX.76-2199

営業時間 8:00～18:00／休業日 日曜日・祝祭日

農家民宿
はなみずき

～笑顔と真心～
一日一組限定のお宿です
東能代駅もしくは向能代駅までの
送迎があります



八峰町産生薬のキキョウ根と
こだわりの原材料を使った
おかず味噌を販売中です

〒0185-2505
秋田県山本郡八峰町峰浜内荒巻家ノ上41
Tel:0185-76-3778 Fax:0185-76-2954
e-mail: motenasijun.susiume@ezweb.ne.jp
<http://www.junko-hanamizuki.com/>

お墓の施工・戒名彫刻・リフォーム・お掃除
・お参り代行・墓じまい等、お墓のことなら
お気軽にご相談ください。



あなたの想いを石に刻む 想刻
(株)伊藤石材店

〒018-2644 秋田県山本郡八峰町八森字椿台 149-3
TEL/FAX:0185-77-3425
Eメール: itosekizai-kazu@shirakami.or.jp

小物農機レンタル! (レンタル機につきましては、1日以上とさせていただきます。)

背負動噴霧器	1日3,000円	2台	溝切機	乗用、ほか	1日5,000円	2台
動力散布機 粉と粒	1日3,000円	2台	管理機	耕す500mm	1日3,500円	3台
エンジンポンプ φ25mm	1日2,000円	3台	高速洗浄機	エンジン付	1日3,500円	1台
刈払機 背負・肩掛	1日3,500円	5台	発電機	100V、220V	1日3,500円	1台
チェーンソー 中 型	1日3,500円	3台	ウイングモア	φ700mm	1日4,500円	1台
ハウス用オーガー φ35mm	1日3,500円	1台	スプレッダー	手 押	1日2,000円	1台

農家のパートナー **AV アシザキ NOUKI**
〒018-2504 山本郡八峰町峰浜石川字外林33-21 TEL・FAX 0185-76-2884

**暮らしの難儀事、不動産の
困り事ありませんか？**

遺言書の作成、相続の手続き、官公庁への申請書類、契約書の作成、車のナンバー変更、成年後見の手続き、空家・空地の賃貸や売買、空家の解体などの相談所です。相談は無料ですよ。

●**工藤金悦行政書士事務所**
携帯 090-3365-8232 ☎ 0185-77-2670
住所：八峰町八森字浜田171

●**はっぼう宅建紹介**
携帯 090-3365-8232 ☎ 0185-74-6110



1177ではない価値
「ここにクオーレがあってよかった」
そういう存在であるために
私たちは誠心誠意、葬儀に取り組みます



クオーレ (株)JA山本葬祭センター

能代市字五雲16-3

TEL.0185-54-3004



□ 家屋解体・クレーン工事ほか

お気軽にお電話ください。

丸伸重機

代表取締役 工藤 栄 (八峰町椿台在住)



〒016-0171

秋田県能代市河戸川字南西山168-1

TEL 0185-55-2200

FAX 0185-53-2380

伝承 千年

0120-022170 FAX 0185-77-3601

<http://www.suzuki-suisan.co.jp/>

米の国・秋田が育んだ

秋田名産



秋田産

麹を使わず、お米と人参・生姜でじっくり
低温熟成発酵させた鈴木水産謹製の飯糰です。

秋田(株)鈴木水産

地域と共に!



SELAグループ

SELAシロキ

Panasonic

エルポートシロキ

八峰町八森字中浜 TEL 77-2323・FAX 77-2324

病院からもらった処方箋の事など、
お薬のことなら専門の薬剤師が丁寧に説明いたします。



LINUS PHARMACY

ライナス薬局

TEL.0185-70-4160

FAX. 0185-70-4170 八峰町八森字古屋敷13-6

月～土/朝8:00～夜7:00
休日/日・祝日

白神の海と大地の夢を育む

白神八峰商工会

会長 大森 三四郎

秋田県山本郡八峰町八森字中浜41-3

TEL:0185-77-3161 FAX:77-3008



白神
秋田・八峰町

あわびの里づくりまつり

令和8年8月第一土曜日開催予定

☆参加者には2年後に「あわび」をお送りします。

五のぎばさ

株式会社 大高食品

代表取締役 大高 正美

〒018-2608

秋田県山本郡八峰町八森岩館向台108-7

TEL 0185-78-2610

FAX 0185-78-2907

あきた白神体験センター



当センターは、海まで3分山まで3分と好立地条件で、自然体験、
工作体験、食づくり体験などサポートします。宿泊もリーズナブルな
お値段ででき全室オーシャンビューです。ぜひ一度おこしください。

〒018-2617 秋田県山本郡八峰町八森字御所の台53-1

(JRあきた白神駅近く、ハタハタ館となり)

TEL 0185-77-4455 FAX 0185-77-4456

【問い合わせ時間】9:00～17:00

E-mail ●shirakami-to@town.happou.akita.jp

HP 検索 ⇒ あきた白神体験センター

白神ネイチャー協会の活動内容、入会申込等につきましては、下記までご連絡ください。

会員及びボランティア参加者募集

世界遺産に登録された白神山地周辺部でブナの森づくり活動を通して、白神山地世界自然遺産地域の保全を確実なものとし、また、ブナの森づくりを行うことによって、白神の森から良質で良好な水の供給を図り、地域のシンボルであるハタハタ等の魚類の産卵ふ化する藻場「海の森」の再生につなげます。

白神山地 植えようブナを、育てようあなたの心

白神ネイチャー協会事務局

■ TEL: 0185-77-3086

■ FAX: 0185-88-8075

■ E-mail: shirakami.asna@gmail.com



白神山地の大自然と
共に歩んで百有余年
八峰町産の酒米で
造った酒を
海外十二カ国に
輸出しています。

白瀑・山本
山本酒造店

〒018-2678

秋田県山本郡八峰町八森字八森2 6 9

電話 0185-77-2311 FAX 0185-77-2312

E-mail info-shirataki@shirakami.or.jp



苦楽を共にする蔵人、数々の受賞歴は我々の誇り

森のリゾート、海のリゾート

あきた 白神温泉ホテル

八峰町八森字磯村100番地

TEL 0185-77-2233



四季の語らい、
くつろぎのひととき。



BANQUET
宴会・会議

ACCOMMODATION
宿泊

RESTAURANT
レストラン

アルカディア市ヶ谷
私学会館

JR線 地下鉄 市ヶ谷駅 徒歩2分

宴会 03-6685-0540

宿泊 03-6685-0541

東京都千代田区九段北4-2-25



秋田料理
酒香童子
ひや てん どん び



東京都墨田区
東向島2-30-11-1F
TEL:03-3619-1676

鶏味噌焼
かしわや
東舟

〒131-0032
東京都墨田区東向島2-11-21
でんわ 03-3612-4129



秋田民謡教室

楽しい民謡教室優しく教えます！



民謡 佐々盛会

会主

佐々木盛次

コロムビアレコード

(由利本荘市岩城出身・本荘高校卒)

〒213-0002 川崎市高津区二子3-5-18

TEL・FAX：044-811-6233

携帯：090-7176-5119

お住まい・不動産の事なら何でも・・・お気軽にご相談ください！！

【不動産（売買・仲介・建替え）／リフォーム（内装・塗装・改築）】

株式会社日本住宅サービス

【代表取締役 佐々木信行／相談役 佐々木盛次】

ホームページ：<https://nj-group.jp>

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-14-1 ヒューリック神田須田町ビル 3F

TEL：03-6687-3120 Mobile：090-5418-0888

Mail：sasaki@nihon-jyutaku-group.com

第17回八峰町関東ふるさと会総会・懇親会案内

★開催日:令和7年11月16日(日)
 ★会場:アルカディア市ヶ谷
 ★受付:11時00分～11時30分
 ★総会:11時30分～11時55分
 ★休憩:11時55分～12時00分
 ★懇親会:12時00分～15時30分
 ★懇親会費:8,000円

学生:4,000円、小学生以下:無料

★年会費:1,000円

★会場へのアクセス

地下鉄有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 1またはA1出口

地下鉄新宿線 市ヶ谷駅 A1またはA4出口

JR中央・総武線(各駅停車) 市ヶ谷駅

※上記出口から徒歩約2分

例年より30分早く
なっていますので
ご注意ください



特別ゲスト 佐々木 盛次 秋田民謡他、歌唱&尺八演奏

《プロフィール》 旧岩城町(現秋田県由利本荘市)出身。本荘高校卒業後上京し、民謡教室で修行。20代半ばに民謡の神奈川県大会で優勝。30代半ばに日本民謡の歌手として、コロムビアレコードからLPレコード『佐々木



盛次 東北民謡集』を発売。おはこは『本荘追分』。歌い手、尺八奏者として首都圏のふるさと会や各種イベントで活躍する傍ら、秋田民謡教室「佐々木盛次」を主催。今回は弟子の民謡歌手・三浦恵美さん(秋田県出身・テイクレコード所属)と共に出演します。

スマホを使っの『ふるさと会ホームページ』の閲覧法説明

今回の懇親会において、スマホを使っの『ふるさと会ホームページ』を閲覧する方法を説明します。

ホームページでは八峰町はじめ近隣市町村等の出来事や過去の総会・懇親会の写真、会報『はたはた』の創刊号から最新号までご覧いただけます。

折に触れて閲覧することで、「ふるさと」がより身近になります。



ふるさと会へのお誘い

ご家族、友人等で該当する方がおられましたら、お声がけをお願いします。

”おめだば、ふるさと会さ入ってらがぁ”

関東地区にお住まいの方をご紹介します

お問い合わせ、申込は本ページ下段のふるさと会事務局まで。

＜編集後記＞ 本年5月1日、八峰町ふるさとPR大使に3名が委嘱されました。本号4ページで井上佳子さん、5ページで山田菜々子さんが今後の抱負を書かれています。もう一人の齋藤司さん(能代市在住)の応募動機は「20年位前から月一で能代から八峰町まで走っています。恩返しをとPR大使に」ということで、現在は「グラフィックデザインや映像制作を通じ、町の観光や自然文化の魅力を全国へ発信しています」とのことです。

3名のPR大使は「八峰町関連の情報を全国(より広く世界)へ発信し、町の知名度向上、地域と観光の振興の促進を図ること」を目的に活躍してくれています。今後も三者三様に町のために大いに活躍いただき、当ふるさと会ともご協力いただければ幸いです。(須藤)

八峰町関東ふるさと会 役員一覧

会長:戸田 眞里
 副会長:須藤 正喜、丹波 テツ子
 成田 勘一
 幹事長:芹田 忍
 副幹事長:菊地 久美子、本多 義春
 幹事:飯田 良子、庄内 俊憲
 三浦 博、吉江 后子
 監査役:麻木 固磨、船越 鉄実

ホームページ 白木 仁
 担当 三浦 博

八峰町関東ふるさと会事務局

〒253-0004

神奈川県茅ヶ崎市甘沼880-9 芹田 忍 方

TEL/FAX 0467-54-2007 携帯 080-1002-3510

- ◆ 発行 行:八峰町関東ふるさと会
- ◆ 発行責任者:戸田 眞里
- ◆ 編集委員:須藤 正喜、飯田 良子、芹田 忍